

8月は「電気使用安全月間」です。

「あなたが 防ぐ 電気事故」

8月1日～8月31日は電気使用安全月間です。

○今年の重点テーマ

「日頃から身のまわりの電気安全を考えましょう！」

「自家用施設の電気事故日頃のチェックで防ぎましょう！」

「自然災害にそなえた電気の安全に努めましょう！」



○夏は感電事故で重大事故になる場合が多くあります。

- ・ 暑さで注意力が散漫になりやすく、しかも服装は薄着になり身体の露出部分が多く、発汗もあり電気が流れやすい状態になっています。
特に低圧作業は
 - ①日頃から危険意識が低く安易に活線作業を行いやすい。
 - ②作業スペースの狭い場所でのケースが多く、単独作業になりやすいため、発見と救出が遅れる危険性がある。

感電事故を防ぐために
原則として検電を確実にを行い、無電圧の状態で作業を行って、安全には手間を惜しまず、何重にも確認しましょう。

○夏は電気機器にとっても苦手な季節です。

- ・ 電気機器は温度が上がり過ぎると焼損したり、寿命が短くなります。
また、気温の上昇に加え冷房用の電力消費量が増加し電気機器(特に変圧器)に負荷が掛かりすぎる傾向があります。

日頃からの安全チェックで事故を防ぎましょう。

○台風は電気機器にとっても大敵です。

- ・ 電柱や電線に接近している樹木、看板、アンテナなどは強風により倒れたり、接触したりして事故を起こす恐れがあります。
樹木の伐採や、看板・アンテナなどの設置状態を点検し、必要に応じて補強をしておきましょう。
- ・ 台風の強風によって電気室やキュービクル(高圧変電設備)の扉が外れたり破損することによって、小動物の侵入からの波及事故の原因になる場合があります。
また、キュービクル内に雨水が吹き込み内部の高圧機器などが濡れてしまうこともあります。台風の雨水は塩分を含んでいることが多いため、内部に溜まったほこりが雨水の吸収し絶縁破壊を起こす危険性があります。

台風シーズン前には受電設備の点検と清掃を行いましょう。